

I. 日 時 平成 26 年 10 月 23 日（木） 13 時 30 分～15 時 30 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

（審議事項）

- (1) ASAF 対応専門委員会における検討状況
- (2) 税効果会計専門委員会における検討状況
- (3) 退職給付会計における複数事業主制度の注記の見直し
- (4) 専門委員等の選退任について

IV. 議事概要

（審議事項）

(1) ASAF 対応専門委員会における検討状況

小賀坂副委員長及び紙谷ディレクターより ASAF 対応専門委員会における検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

具体的には、2014 年 10 月の IASB ボード会議における議題のうち、「開示に関する取り組み（開示原則 - キャッシュ・フロー計算書）」について、第 18 回 ASAF 対応専門委員会（10 月 22 日開催）における議論も踏まえ、審議が行われた。

(2) 税効果会計専門委員会における検討状況

小賀坂副委員長、紙谷ディレクター及び前田ディレクターより税効果会計専門委員会における検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

具体的には、第 10 回税効果会計専門委員会（10 月 22 日開催）において検討された「繰延税金資産の回収可能性に関する論点－会計基準間の整合性に関する論点の検討」、「繰延税金資産の回収可能性に関する論点－具体的な対応案の検討」及び「今後の検討の進め方」について、審議が行われた。

(3) 退職給付会計における複数事業主制度の注記の見直し

小賀坂副委員長及び前田ディレクターより退職給付会計における複数事業主制度の注記の見直しについて説明がなされ、審議が行われた。

具体的には、第 62 回（8 月 20 日開催）及び第 64 回（9 月 19 日開催）の実務対応専門委員会において検討された「複数事業主制度を採用している場合の注記内容の明確化」、「複数事業主制度における自社の負担に属する年金資産等の計算基準の明確化」及び「簡便法を適用する場合の退職給付債務の計算方法の明確化」について、審議が行われた。

(4) 専門委員等の選退任について

新井副委員長より専門委員等の選退任について説明がなされ、承認された。

以 上